iA

デジタルビジネスホン

NYC-iA

技術基準適合認証品

■ 取扱説明書 ■

●このたびは、ナカヨ　デジタルビジネスホン「NYC-iAv2」シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
お読みになった後も、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

●この「取扱説明書」は「NYC-iAv2」シリーズの各主装置で使用することができますが、ご使用になる主装置によって一部ご利用できない機能や内容が異なる場合があります。
下記のように記号を表示していますので、ご使用になる主装置に対応した説明をお読みください。
記号のない説明は、全機種共通です。
また、主装置によって電話機の画面表示が多少異なる場合があります。
S ：NYC-iAv2/Sの仕様またはNYC-iAv2/Sでご利用できる機能
M ：NYC-iAv2/Mの仕様またはNYC-iAv2/Mでご利用できる機能
L ：NYC-iAv2/Lの仕様またはNYC-iAv2/Lでご利用できる機能

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。

●この電話システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外では使用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

●本装置（オプション用品等も含む）の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって正常に機能しなかったことによる付随的な保証や、通話などの機会を逸したために発生した損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。

指定電話機	◆お客様の設定は次のとおりです。 ☐ ① 全ての電話機 ☐ ② ＿＿＿番と＿＿＿番の電話機	【取付けされる方へ】 左記☑印および電話機番号（内線番号）を記入し、お客様にご説明ください。

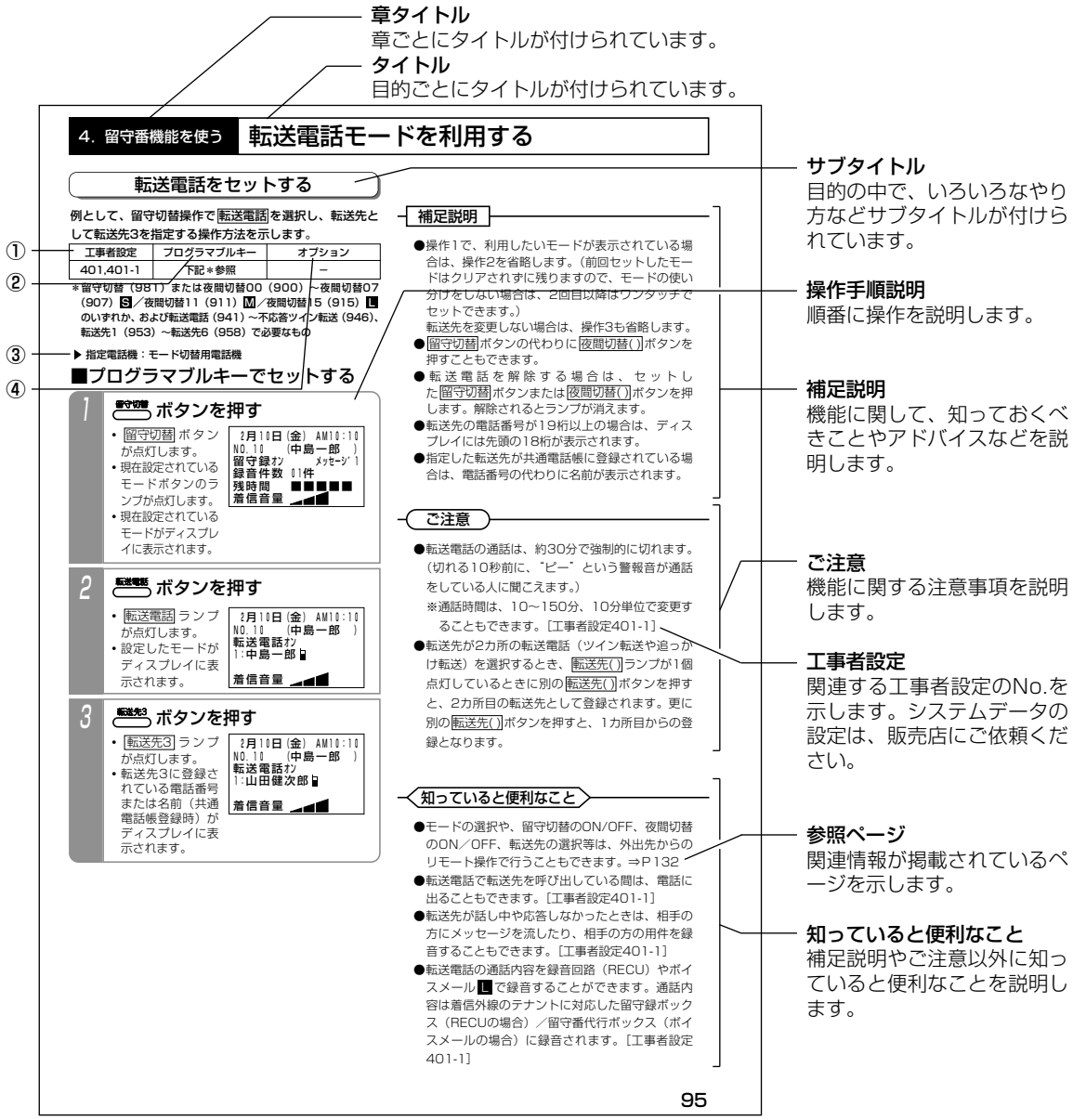
NAKAYO

目次

ご利用の前に ・・・p.1
１．カレンダー・時計の設定 ・・・p.5
・年、月、日、曜日の設定
・時計の調整
２．音量の調整 ・・・p.6
・外線、内線
・ドアホン、スピーカ
・ハンドセット
３．電話帳の登録 ・・・p.9
４．ワンタッチダイヤルボタンの登録 ・・・p.13
５．履歴 ・・・p.15
・発信履歴からの発信、電話帳登録
・着信履歴からの発信、電話帳登録
６．着信拒否 ・・・p.19
・特定番号からの拒否
・非通知着信の拒否
７．留守番（留守録モード） ・・・p.25
８．留守番（転送モード） ・・・p.28
９．プログラマブルキー登録 ・・・p.31
（付録）電話機の使い方早見表 ・・・p.32

この取扱説明書の見方

操作説明のページの構成は次のようになっています。



表の説明（項目によっては本表がない場合もあります）

①工事者設定

主装置側にシステムデータの設定が必要な場合に、該当する工事者設定のNo.を示します。（　）で示してあるものは、ご利用内容によっては必要な場合があります。システムデータの設定は、販売店にご依頼ください。

②プログラマブルキー

プログラマブルキーの登録が必要な場合に、登録するプログラマブルキーの名称を示します。（プログラマブルキーの登録方法はP264をご覧ください。）

③指定電話機

指定電話機のみ本機能をご利用できる場合、指定電話機の種類を示します。

④オプション

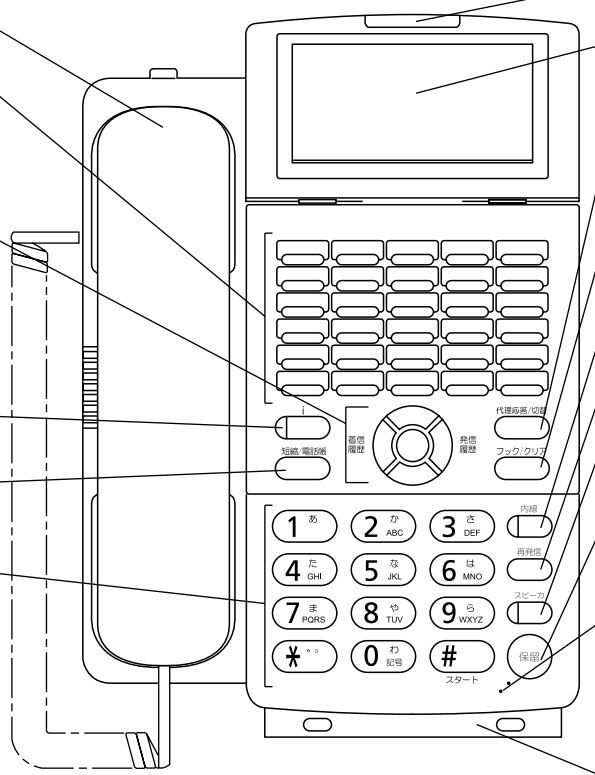
本機能をご利用する場合に必要となるオプション用品を示します。なお、ご使用になる主装置によりオプション用品が異なりますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。

※　参照ページなどに関しては、取扱説明書をご覧ください。

各部の名前とはたらき

各部の名前

図の電話機は30ボタンタイプです。



- ハンドセット
  相手とお話しするときに使います。
- 外線／（プログラマブルキー）ボタン（ランプ付き）※
  外へ電話をかけるとき、外から電話を受けるときに使います。外線を登録していないボタンは、プログラマブルキーとして使います。また、ランプについては自分で使っている場合は（緑）、他の人が使っている場合は（赤）で表示します。
- カーソルキー（センターキー付き）
  メニュー機能で使います。また下記の用途で使うこともできます。
  …待機中や通話中、着信中の音量調整に使います。
  …待機中に操作すると発信履歴を表示します。
  …待機中に操作すると着信履歴を表示します。
- i ボタン
  いろいろな機能を設定するときに使います。
- 短縮／電話帳 ボタン
  短縮ダイヤルの登録、発信時に使います。また、電子電話帳の登録や検索をするときにも使います。
- ダイヤル ボタン
  外へ電話をかけるときや、内線呼出をするときに使います。また、漢字やカナ文字を登録するときにも使います。
  ISDN外線を使用するとき、相手番号を押した後に # を押すと、すぐにダイヤルを送ることができます。（P28をご参照ください。）

- 着信／メッセージ ランプ
  着信、保留、メッセージ等の状態をランプで表示します。
- ディジタル表示部
  日時、ダイヤル番号、通話料金などが表示されます。
  （半角20文字、全角10文字6行）
- 代理応答／切替 ボタン
  他の電話機の着信に応答するときや、電話帳検索の一覧表示／詳細表示の切替を行うときなどに使います。
- フック/クリア ボタン
  このボタンを押すと、一度ハンドセットを置いた（通話が切れる）状態になります。また、キャッチホンにも使用できます。
- 内線 ボタン
  内線発信のときに使います。
- 再発信 ボタン
  最後にかけた番号をもう一度ダイヤルするときに使います。
- スピーカ ボタン（ランプ）
  このボタンを押すと（点灯しているとき）、ハンドセットを上げた状態と同じ働きをします。
- 保留 ボタン
  外線・内線の通話を保留するときに使います。
- マイク
  内線ハンズフリー応答（ハンドセットを取らずに応答する）及び通話のときに使います。
- 短縮ダイヤルカード
  短縮番号の相手先を記入します。

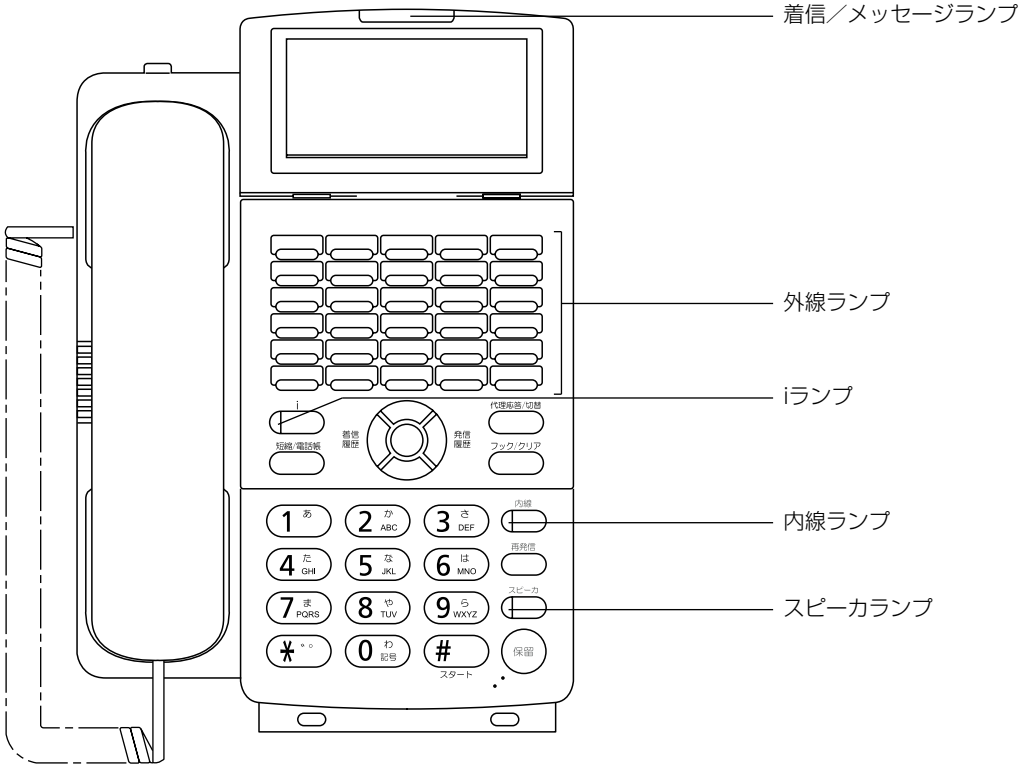
※プログラマブルキーとは使用していない 外線 ボタンをワンタッチダイヤルや各機能ボタンに登録して自分に合った電話機にするためのボタンのことです。
（P264をご参照ください。）

電話機の種類は下記のとおりです。

No.	種類	略号	概要
1	標準電話機	SD	漢字表示LCD付
2	アナログ停電用電話機	PF	漢字表示LCD付、停電時発着信用
3	ISDN停電用電話機	PFI	漢字表示LCD付、ISDN停電時発着信用
4	赤外線通信機能付電話機	IR	漢字表示LCD付、赤外線通信機能/CTI用

各部の名前とはたらき

ランプの表示



ランプの種類と表示

ランプの種類	ランプの表示（色）		電話機の状態
着信／メッセージランプ	速い点滅	（赤）	電話がかかってきたとき 保留警報中のとき
	遅い点滅	（赤）	通話を保留中のとき
	点灯	（赤）	未再生の留守録メッセージがあるとき
外線ランプ	点灯中、周期的に2回消える	（緑）	自分の電話機で通話中のとき
	点灯	（赤）	他の内線電話機が外線と通話中のとき 主装置のS/T点にTAやダイヤルアップルータを接続してインターネットを使用中のとき S M
	周期的に2回点滅	（緑）	自分の電話機が外線保留中のとき
	速い点滅	（緑）	電話がかかってきたとき（DIL等）
	速い点滅	（赤）	電話がかかってきたとき
	遅い点滅	（赤）	他の内線電話機が外線保留中のとき
	周期的に4回点滅	（緑）	保留警報中のとき
内線ランプ	点灯中、周期的に2回消える	（赤）	自分の電話で通話中のとき
	速い点滅	（赤）	内線、DID、DI着信中のとき 外線発信ウェイティング中のとき
	周期的に4回点灯	（赤）	ドアホン着信中のとき
iランプ	点灯	（赤）	メニュー機能で機能選択中のとき
	遅い点滅	（赤）	設定データ入力中のとき
	速い点滅	（赤）	設定OKのとき
スピーカランプ	点灯	（赤）	スピーカONのとき

メニュー機能の使い方

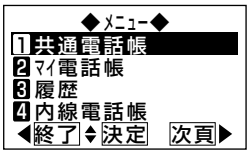
メニュー機能の操作方法

いろいろな機能の、設定内容の確認や変更をしたりするときには、メニュー機能を使用します。ここでは、メニュー機能の操作方法を紹介します。それぞれの機能の具体的な操作方法については、各機能のページを参照してください。

■例：留守切替をONにする

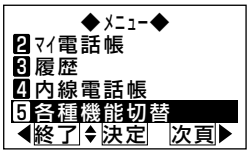
1 ◎を押す

- メニュートップ画面が表示されます。



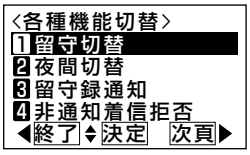
2 ◎を押して目的の機能を選択し、◎を押す

- 選択されている機能は、反転表示します。「留守切替」はメインメニュー画面の**「5 各種機能切替」**に含まれます。



3 ◎を押して目的の機能を選択し、◎を押す

- **「1 留守切替」**を選択します。

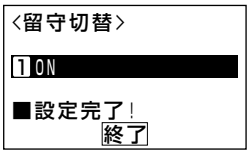


4 ◎を押して動作を選択し、◎を押す

- **「1 ON」**を選択します。

5 設定完了画面が表示される

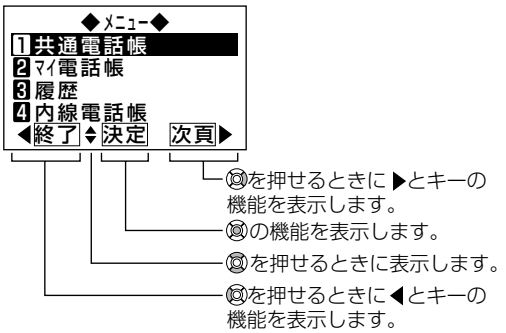
- 設定完了が表示される。



補足説明

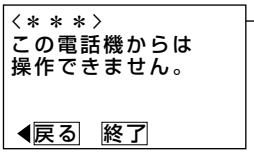
●メニュー機能は、電話機を使用していないときに操作できます。

●画面の説明



●ダイヤルボタンで機能を直接選ぶこともできます。◎＋◎の操作は不要です。
（例：操作2で5を押すと「5各種機能切替」を選択して◎を押すのと同じ動きとなります。）

●一部のメニュー機能（「▶指定電話機：…」が記載されている項目）は、指定電話機（モード切替用電話機、またはデータ設定用電話機）のみ操作を行うことができます。
操作できない電話機が該当するメニュー機能を選択した場合は、下記のエラー表示となります。
◎を押すと、前の画面に戻ります。
◎を押すと、メニュー機能を終了します。



●一部のメニュー機能は、複数の電話機で同時に操作することができません。他の電話機が操作中は操作を受け付けませんが故障ではありません。

●下記のいずれかの操作を行うと、メニュー機能から抜けることができます。
- i ボタンを押す
- スピーカ ボタンを2回押す※
- ハンドセットを上げ下げする※

※メッセージの録音・再生操作を行っているときは、無効です。

カレンダー、時計の設定

年、月、日、曜日を設定できます。

年、月、日、曜日の設定

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(611)	−	−

1 メニューから＜日時設定＞を呼び出す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「3 日時設定」を選択し、◎を押します。

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ◆決定

2 ◎で「2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定」を選択し、◎を押す

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ◆決定

3 西暦、月、日を入力し、◎を押す

- 再入力する場合は、フック/クリアボタンを押します。
- iボタン＋5を押しても本画面となります。

(新規の場合)

<ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定>-年月日
06年 2月10日
■西暦下2桁+月2桁+日2桁を入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る 決定

4 ◎で曜日を選択し、◎を押す

<ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定>-曜日
0 (日)
1 (月)
2 (火)
3 (水)
◀戻る ◆決定

5 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと、操作2に戻ります。

<ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定>
06年 2月10日(金)
■設定完了!
終了 継続▶

時計の調整

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(611)	−	−

1 メニューから＜日時設定＞を呼び出す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「3 日時設定」を選択し、◎を押します。

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ◆決定

2 ◎で「1 時計調整」を選択し、◎を押す

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ◆決定

3 時刻を入力し、◎を押す

- 再入力する場合は、フック/クリアボタンを押します。
- iボタン＋6を押しても本画面となります。

<時計調整>
15:00
■24時間制4桁で入力
(0000～2359)
ｸﾘｱ再入力
◀戻る 決定

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと、操作2に戻ります。

<時計調整>
15:00
■設定完了!
終了 継続▶

補足説明

●通常画面では、年の表示は行いません。
●通常画面では、12時間制で表示します。24時間制で表示することもできます。[工事者設定611]

ご注意

●電話機で表示する時計は目安です。時計は、1カ月あたり1～2分程度の誤差が生じる場合があります。必要に応じて、再設定してください。

音量・ディスプレイの設定

外線着信音量の調整

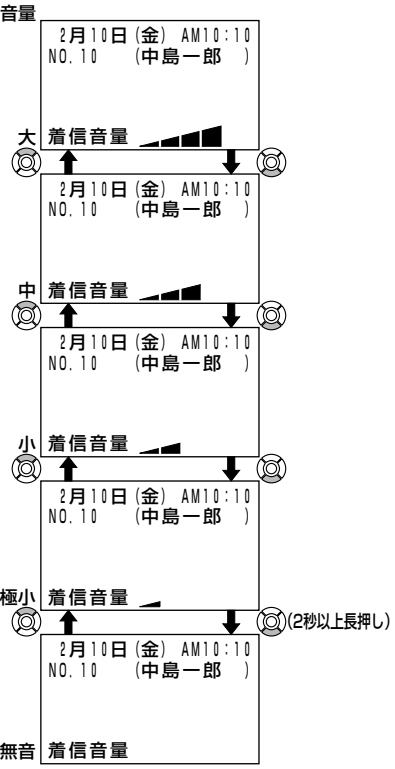
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(701-3)	–	–

電話機毎に、外線着信音量を5段階で調整することができます。

1 待機時または外線着信時に、ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 外線着信中は、着信音量が変わります。
- 着信音量の設定状態がディスプレイに表示されます。

外線着信音量



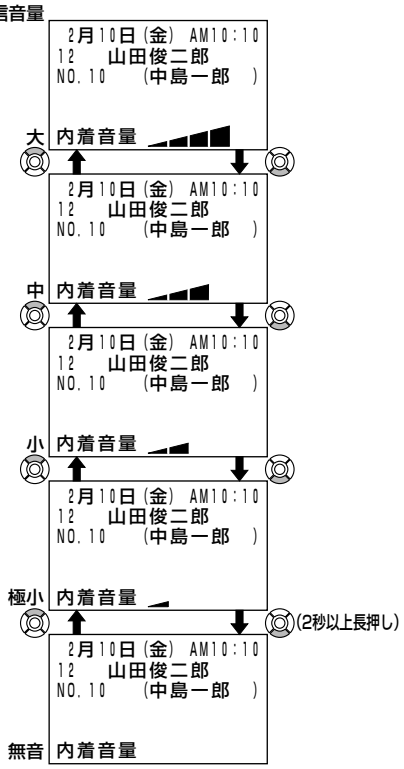
内線着信音量の調整

電話機毎に、内線の着信音量を5段階で調整することができます。

1 内線着信中に、ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 着信音量が変わります。
- 内線着信音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。

内線着信音量



ご注意

●タイムアラーム（P281）を利用する場合は、外線着信音量および内線着信音量を「無音」にしないでください。
●外線着信でも、一台の電話機を直接呼び出すダイレクトインライン（DIL）、ダイヤルイン（DI）、ダイレクトインダイヤル（DID）、発番号ホットラインの着信音や、着信音転送、オートマチックリコールの鳴動音は、内線着信音量で調節します。
●音声呼出の音量も内線着信音量で調節します。

知っていると便利なこと

●待機時は、外線着信音量レベルがディスプレイに表示されます。表示しないようにすることもできます。ただし、全ての電話機が表示なしとなります。[工事者設定701-3]

音量・ディスプレイの設定

スピーカ音量の調整

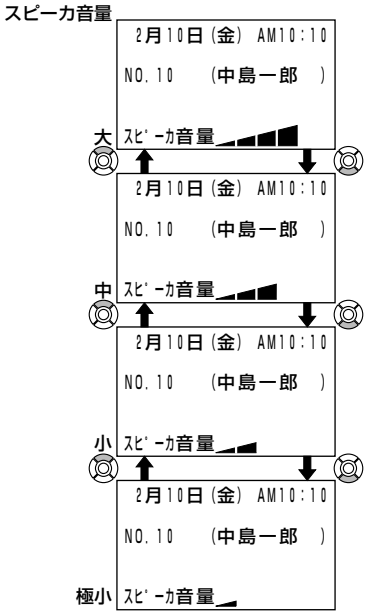
電話機毎に、スピーカ音量を4段階で調整することができます。

1 スピーカ受話中に、ハンドセットを置いたまま スピーカ ボタンを押す

- スピーカランプが点灯します。
- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 を押す

- スピーカからの音量が変わります。
- スピーカ音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



ハンドセット受話音量の調整

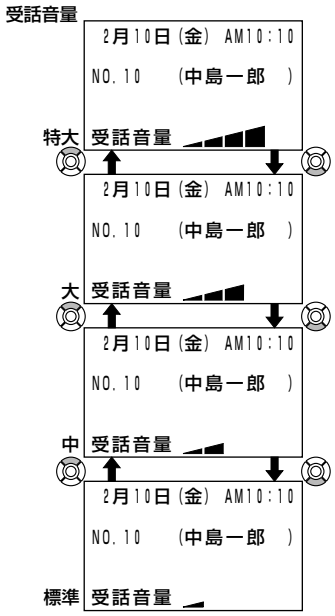
電話機毎に、ハンドセットの受話音量を4段階で調整することができます。

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 を押す

- ハンドセットからの音量が変わります。
- 受話音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



音量・ディスプレイの設定

受話音量を通常より大きくして使う（受話音量アップ）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
−	音量アップ（932）	−

騒音の大きな場所や電話の声が聞き取りにくい場合に、ハンドセットの受話音量を通常の調整範囲より大きくすることができます。
以下の2つのモードを選択することができます。

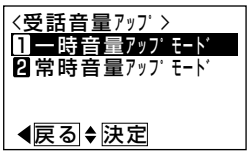
一時音量アップモード（初期設定）	通話中のみ音量アップの切替ができます。ハンドセットを置くと、通常の音量に戻ります。
常時音量アップモード	常に音量アップで使用できます。通話中以外でも音量アップの切替ができます。

※スピーカ受話や着信音を通常調整範囲より大きくすることはできません。

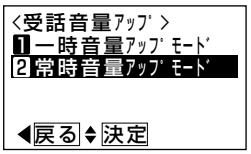
■使用するモードを設定する

1 メニューから＜受話音量ｱｯﾌﾟ＞を呼び出す

①◎を押します。
②「**5** 各種機能切替」を選択し、◎を押します。
③「**8** 受話音量調整」を選択し、◎を押します。
④「**1** 受話音量ｱｯﾌﾟ」を選択し、◎を押します。

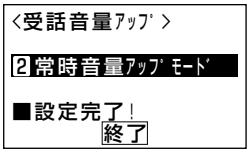


2 ◎で使用するモードを選択し、◎を押す



3 設定完了画面が表示される

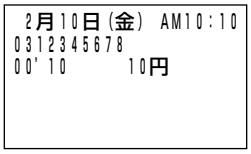
- ◎を押すと、終了します。



■通話中に音量アップを行う

1 ハンドセットで通話中に 音量アップ ボタンを押す

- 音量アップ ランプ（赤）が点灯します。
- 受話音量は音量アップ時の「標準」音量となります。

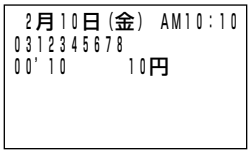


2 ◎を押して音量を調節する

- 音量アップ状態で4段階の音量調整を行うことができます。
- 受話音量レベルは約2秒間表示します。
- ディスプレイの6行目に「UP」を表示します。

3 もう一度 音量アップ ボタンを押す

- 音量アップ ランプが消灯します。
- 受話音量は音量アップ直前の状態に戻ります。



補足説明

●常時音量アップモード時は、通話中以外も音量アップの切替が可能ですが、「UP」を表示するのは、音量の変更をした場合のみです。

ご注意

●一時音量アップモードの場合、保留にしたときもハンドセットを置くと通常の音量に戻ります。
●常時音量アップモードは、通話終了後も音量アップ状態を保持しますが、停電時や電話機を外したときは音量アップ時の標準音量となります。

電話帳を登録する

共通電話帳の登録／変更

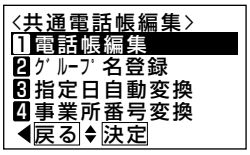
相手の方の電話番号、名前、ヨミガナを電話帳に登録することができます。登録できる件数はP76を参照してください。
「共通電話帳」はすべての電話機で共通に利用することができます。また、グループを分けて登録することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(108,117)	–	–

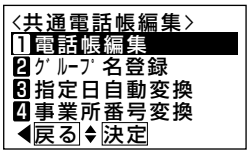
▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈共通電話帳編集〉を呼び出す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「1 共通電話帳編集」を選択し、◎を押します。

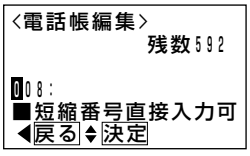


2 ◎で「1 電話帳編集」を選択し、◎を押す



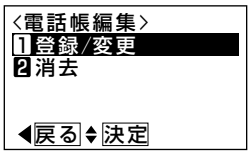
3 〈電話帳編集〉画面となるので、◎を押す

- 登録されていない短縮番号が表示されます。
- 短縮番号を変更する場合は、短縮番号を入力してください。
- 短縮番号3桁入力状態で◎を押すと、短縮番号を検索することもできます。
- 短縮番号3桁入力状態のとき、先頭から短縮番号を再入力できます。
- すでに電話帳登録されている短縮番号の場合は、登録内容が表示されます。



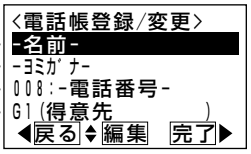
4 ◎で「1 登録／変更」を選択し、◎を押す

- 新規で登録する場合や、登録内容の変更を行う場合は、「1 登録/変更」を選択します。



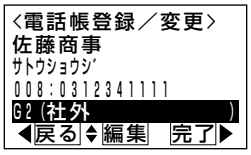
5 編集画面が表示されるので、各項目を編集する

- 以降の操作は各項目を参照してください。
  ⇒P72～74
- 各項目の編集を完了した段階で項目毎に登録が完了します。
- すでに電話帳登録されている場合は、登録内容が表示されます。



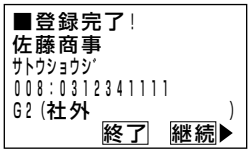
6 すべて登録／変更が完了したら、◎を押す

- ◎を押すと操作4に戻ることができますが、表示されている内容が登録されます。



7 登録完了画面となる

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

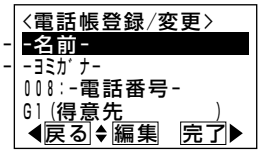


電話帳を登録する

名前を登録する

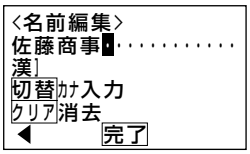
「共通電話帳の登録／変更」の操作5（P68）や「マイ電話帳の登録／変更」の操作4（P70）で下記の操作を行います。ヨミガナのみを登録／変更することもできます。

1 ◎で名前入力欄を選択し、◎を押す



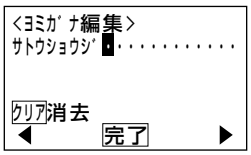
2 ダイヤルボタンで相手名称を入力し、◎を押す

- 名称は全角で10文字まで入力できます。
- ◎を押すと（▮）位置が移動し、文字を入力する位置を指定できます。
- 代理応答/切替ボタンを押すと、「漢字入力」と「カナ入力」が交互に切り替わります。
- フック/クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、末尾の一文字を消去します。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P77）を参照してください。

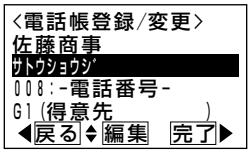


3 ヨミガナを入力し、◎を押す

- 名前編集で入力したカナがヨミガナとして表示されます。
- 表示されているヨミガナを訂正する場合は、◎を押してカーソル（▮）を訂正したい位置に移動し、消去または入力を行ってください。
- 入力した文字はカーソル前に挿入されます。
- フック/クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、末尾の一文字を消去します。
- ヨミガナは半角20文字まで入力できます。



4 登録された内容が表示されます。



補足説明

●名前は全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号以外に、半角のカタカナ、英数字、記号も入力できます。

●フック/クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルのある文字以降（カーソル位置を含む）を一括消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を一括消去します。

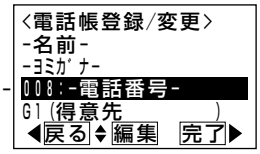
電話帳を登録する

電話番号を登録する

「共通電話帳の登録／変更」の操作5（P68）や「マイ電話帳の登録／変更」の操作4（P70）で下記の操作を行います。

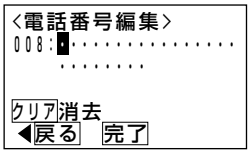
1 ◎で電話番号入力欄を選択し、◎を押す

電話番号入力欄

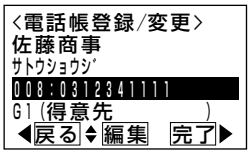


2 電話番号（最大24桁）を入力し、◎を押す

- 一般の電話は市外局番から、入力してください。
- フック/クリアボタンを長押し（2秒以上）で全桁が消えます。
- 入力した文字はカーソル前に挿入されます。
- フック/クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、末尾の一文字を消去します。



3 登録された内容が表示されます。



補足説明

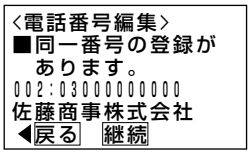
●フック/クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルのある文字以降（カーソル位置を含む）を一括消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を一括消去します。

ご注意

●操作2のあと、下記の表示が出たときは同じ電話番号がすでに設定されています。

◎を押すと操作2に戻り、電話番号を修正することができます。

◎を押すと同じ電話番号で登録します。ただし、着信時に表示する名称（ナンバー・ディスプレイ利用時）は短縮番号の若番に登録した内容となります。



知っていると便利なこと

●操作2で、自分と同じ市外局番を省略して電話番号を登録した場合でも、ナンバーディスプレイ時に共通電話帳に登録した名称を表示できます。[工事者設定229-1]

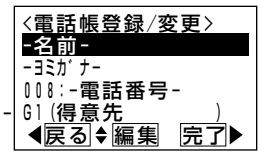
電話帳を登録する

グループを選択する

「共通電話帳の登録／変更」の操作5（P68）で下記の操作を行います。「マイ電話帳」はグループ選択はできません。

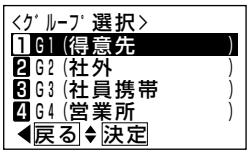
1 ◎でグループ選択欄を選択し、◎を押す

グループ選択欄

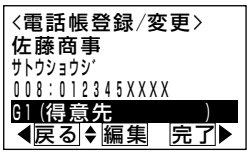


2 ◎で登録するグループを選択し、◎を押す

- グループ1（G1）～グループ7(G7)を選択できます。
- （ ）内はグループ名を表示します。グループ名は全角にて7文字まで登録できます。⇒P75



3 登録された内容が表示される



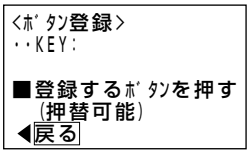
ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルボタンを登録する（短縮番号指定）

空いている外線ボタンにワンタッチダイヤルボタンを登録することにより、ワンタッチで相手の方へ電話をかけることができます。短縮番号があらかじめわかっているときは、この方法で登録します。

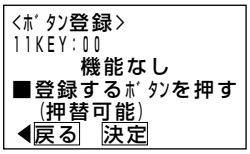
1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①◎を押します。
②「6 電話機毎機能設定」を選択し、◎を押します。
③「2 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◎を押します。
・i ボタン＋米 米を押しても本画面となります。

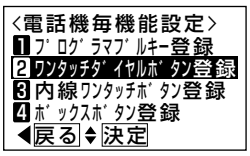


2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、◎を押す

・現在登録されている機能名称が表示されます。

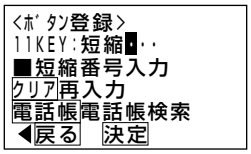


3 ◎で「2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◎を押す

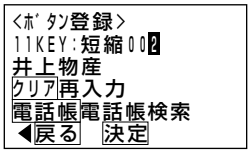


4 短縮番号を入力し、◎を押す

・短縮番号入力が完了すると、3行目に電話番号または名称（共通電話帳またはマイ電話帳に登録時）が表示されます。

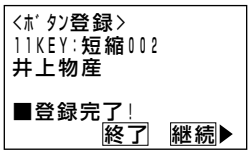


■短縮番号入力後



5 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、◎を押します。
・◎を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

●使用できる短縮番号は、下記のとおりです。
・メモリ数600件（初期）の場合：
000～599（共通電話帳）
980～999（マイ電話帳）
・メモリ数990件の場合M L：
000～989（共通電話帳）
990～999（マイ電話帳）

ご注意

●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能では使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P264

知っていると便利なこと

●操作2で◎を押す代わりに短縮/電話帳ボタンを押すと、操作4から操作できます。

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルボタンを登録する（電話帳検索）

空いている 外線 ボタンに ワンタッチダイヤル ボタンを登録することにより、ワンタッチで相手の方へ電話をかけることができます。短縮番号がわからなくても、電話帳で検索することができます。

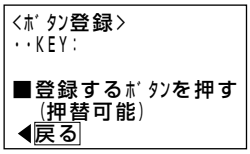
1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ◎ を押します。

② 「6 電話機毎機能設定」を選択し、◎ を押します。

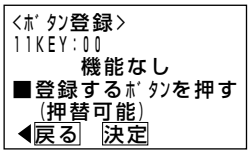
③ 「2 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◎ を押します。

• i ボタン＋ ✳ ✳ を押しても本画面となります。

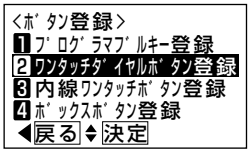


2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、◎ を押す

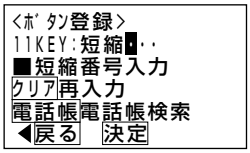
• 現在登録されている機能名称が表示されます。



3 ◎ で「2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◎ を押す



4 短縮/電話帳 ボタンを押す

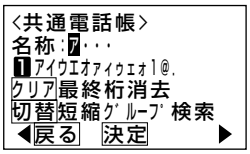


5 ダイヤルキーでカナ名称の頭文字（濁点を含めて最大4文字）を入力し、◎ を押す

• フック/クリア ボタンを押すと末尾の一文字が消去されます。

• 代理応答/切替 ボタンを押すと、短縮グループ検索や短縮番号検索に切り替えることもできます。詳しくは「電話帳を使って電話をかける」（P81）を参照してください。

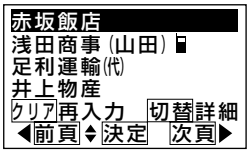
• 「マイ電話帳」を検索するときは、何も入力しないで ◎ を押します。



6 ◎ で登録する相手を選択し、◎ を押す

• 入力した文字に該当する名称の一覧が表示されます。

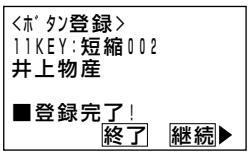
• 代理応答/切替 ボタンを押すと詳細表示になります。



7 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、◎ を押します。

• ◎ を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



ご注意

●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。

●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能では使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P264

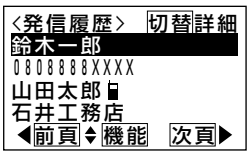
自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

発信履歴から検索して電話をかける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(103,113)	−	−

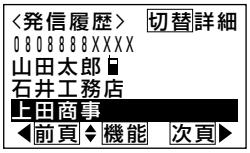
1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

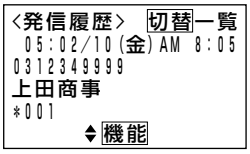
- 発信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。



2 ◎ を押し、かけたい相手を選ぶ

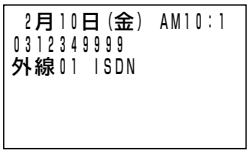
- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと、前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと検索相手の詳細表示に切り替わります。以降 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）が切り替わります。





3 空いている 外線 ボタンを押す

- 選択された履歴の電話番号がダイヤルされます。



補足説明

- 表示できる発信履歴は30件までです。
- 発信履歴に登録されている電話番号は最大24桁です。
- 詳細表示画面の説明：

＊：共通電話帳に登録してあると表示します。

ご注意

- 共通電話帳に電話番号のみ登録されている場合は、一覧表示したとき「＊」が表示されます。電話帳を修正してください。⇒P68
- チェーンダイヤル（P183）およびワンタッチチェーンダイヤル（P76）でかけたときは、発信履歴に登録されません。

知っていると便利なこと

- 発信履歴から発信した場合、選択した履歴は消去され最新の履歴として再登録されます。
- 短縮ダイヤルやワンタッチダイヤル（P42）などでかけたときも、発信履歴に登録されます。
- 操作3で 外線 ボタンを押す代わりに、ハンドセットをとるか スピーカ ボタンを押すと、使用できる 外線 ボタンを自動的に選んで電話をかけることもできます。[工事者設定113]
- 操作1で最初に表示される画面を一覧表示でなく詳細表示とすることもできます。⇒P40
  この場合も、 代理応答/切替 ボタンで一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）を切り替えることができます。

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

発信履歴の電話番号を電話帳に登録する

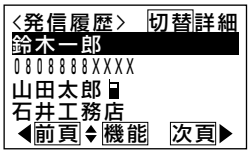
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(113)	–	–

■共通電話帳に登録するとき

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

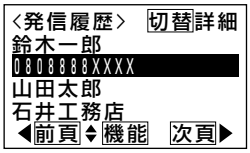
1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 発信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。

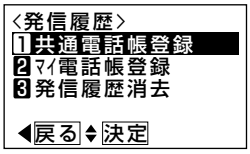


2 ◎ を押し、登録したい相手を選び、◎ を押す

- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと、前後の4件を表示します。

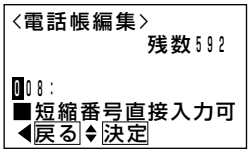


3 ◎ で「1 共通電話帳登録」を選択し、◎ を押す



4 〈電話帳編集〉画面となるので、◎ を押す

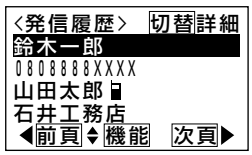
- 短縮番号を変更して登録する場合は、◎ を押す前に短縮番号を入力してください。
- 以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P68
- 発信履歴画面には戻れません。



■マイ電話帳に登録するとき

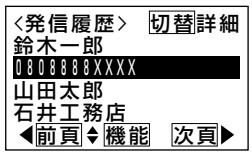
1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 発信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。



2 ◎ を押し、登録したい相手を選び、◎ を押す

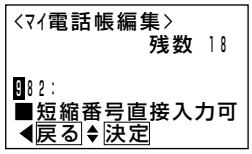
- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと、前後の4件を表示します。



3 ◎ で「2 ﾏｲ電話帳登録」を選択し、◎ を押す

4 〈ﾏｲ電話帳編集〉画面となるので、◎ を押す

- 短縮番号を変更して登録する場合は、◎ を押す前に短縮番号を入力してください。
- 以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P70
- 発信履歴画面には戻れません。



ご注意

●操作4で「残数　0」が表示されたときは、電話帳に空きがありません。
登録したいときは、不要なものを消去してください。⇒P88

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

着信履歴から電話をかける

ISDN回線をご利用の場合や、ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合、電話をかけてきた方の番号や名称を履歴として確認できます。また、選んだ履歴の番号に電話をかけ直すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-5)	–	–

1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 着信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。

<全着信履歴>切替詳細
鈴木一郎　→12
田中運送　→佐藤
山田太郎
0808888XXXX　→拒否
◀前頁 ◆機能　次頁▶

2 ◎ を押し、かけたい相手を選ぶ

- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと検索相手の詳細表示に切り替わります。以降 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）が切り替わります。

<全着信履歴>切替詳細
田中運送　→佐藤
山田太郎
0808888XXXX　→拒否
上田商事　→佐藤
◀前頁 ◆機能　次頁▶

<全着信履歴>切替一覧
005:02/10(金)AM 9:05
03123499999
上田商事
*001　→佐藤純一郎
◆機能

3 空いている 外線 ボタンを押す

- 選択された履歴の電話番号がダイヤルされます。

2月10日(金) AM10:10
03123499999
外線01 ISDN

非通知着信履歴の表示有無

番号を通知しない着信（非通知着信）も履歴に残すことができます。電話番号の代わりに「非通知」、「公衆電話」、または「表示圏外」が表示されます。

1 メニューから＜非通知着信履歴有無＞を呼び出す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「0 その他」を選択し、◎を押します。
④「6 非通知着信履歴有無」を選択し、◎を押します。

<ｼｽﾃﾑ機能 その他>
3 夜間切替ﾀｲﾏ
4 転送元ｱﾅｳﾝｽ有無
5 設定完了ｱﾅｳﾝｽ有無
6 非通知着信履歴有無
◀戻る ◆決定

2 ◎ で選択し、◎ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 非通知履歴を残す場合は、「1 あり」を選択してください。
- 非通知履歴を残さない場合は、「0 なし」を選択してください。

<非通知着信履歴有無>
0 なし
1 あり
◀戻る ◆決定

3 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。

<非通知着信履歴有無>
1 あり
■設定完了!
終了

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

着信履歴の電話番号を電話帳に登録する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-5)	−	−

■共通電話帳に登録するとき

1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 着信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。

<マイ着信履歴>切替詳細
佐々木商店
0505555XXXX
山田恵子
0312344444
◀前頁 ◆機能 次頁▶

2 ◎ を押し登録したい相手を選び、◎ を押す

- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと前後の4件を表示します。

<マイ着信履歴>切替詳細
佐々木商店
0505555XXXX
山田恵子
0312344444
◀前頁 ◆機能 次頁▶

3 ◎ で「5 共通電話帳登録」を選択し、◎ を押す

<マイ着信履歴>
5 共通電話帳登録
6 マイ電話帳登録
7 着信履歴消去
1 マイ着信履歴
◀戻る ◆決定

4 <電話帳編集>画面となるので、◎ を押す

- 短縮番号を変更して登録する場合は、◎ を押す前に短縮番号を入力してください。
- 以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P68
- 着信履歴画面には戻れません。

<電話帳編集>
残数592
0 0 8 :
■短縮番号直接入力可
◀戻る ◆決定

■マイ電話帳に登録するとき

1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 着信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。

<マイ着信履歴>切替詳細
佐々木商店
0505555XXXX
山田恵子
0312344444
◀前頁 ◆機能 次頁▶

2 ◎ を押し登録したい相手を選び、◎ を押す

- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと前後の4件を表示します。

<マイ着信履歴>切替詳細
佐々木商店
0505555XXXX
山田恵子
0312344444
◀前頁 ◆機能 次頁▶

3 ◎ で「6 マイ電話帳登録」を選択して、◎ を押す

<マイ着信履歴>
5 共通電話帳登録
6 マイ電話帳登録
7 着信履歴消去
1 マイ着信履歴
◀戻る ◆決定

4 <マイ電話帳編集>画面となるので、◎ を押す

- 短縮番号を変更して登録する場合は、◎ を押す前に短縮番号を入力してください。
- 以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P70
- 着信履歴画面には戻れません。

<マイ電話帳編集>
残数 18
9 8 2 :
■短縮番号直接入力可
◀戻る ◆決定

ご注意

●操作4で「残数0」が表示されたときは、電話帳に空きがありません。登録したいときは、不要なものを消去してください。⇒P88

知っていると便利なこと

●ネーム・ディスプレイ（P253）を利用している場合は、回線から通知された名称も電話機に登録できます。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

特定の番号からの電話は着信を拒否する(発番号識別着信拒否)

あらかじめセットした電話番号から電話がかかってきた場合に、話中音（ツーツー…）や音声メッセージ登録を聞かせることができます。迷惑電話などを拒否する場合に便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	–	ET-4CIU-iA/L **L** （アナログ回線の場合）

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■拒否する電話番号を直接登録する

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

①(◎)を押します。
②「**7** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、(◎)を押します。
③「**9** 発信者識別機能」を選択し、(◎)を押します。
④「**1** 着信拒否番号」を選択し、(◎)を押します。

〈着信拒否番号〉
05：
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

2 未登録の項番を表示するので、(◎)を押す

・登録済みの電話番号を変更するときは、項番を直接入力するか(◎)で項番を選択してください。登録済みの項番は電話番号や名前（共通電話帳に登録時）が表示されます。

〈着信拒否番号〉
05：
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

3 (◎)で「1** 番号直接入力」を選択し、(◎)を押す**

〈着信拒否番号〉
1 番号直接入力
2 着信履歴検索
3 消去
◀戻る ◆決定

4 拒否する電話番号を入力し、(◎)を押す

・電話番号は市外局番から入力してください。

〈着信拒否番号〉
05：090555XXXX
■電話番号入力
クリア消去
◀ 決定

5 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、(◎)を押します。
・(◎)を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

〈着信拒否番号〉
05：090555XXXX
■登録完了！
終了 継続▶

■着信履歴から検索して拒否する電話番号を登録する

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

①(◎)を押します。
②「**7** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、(◎)を押します。
③「**9** 発信者識別機能」を選択し、(◎)を押します。
④「**1** 着信拒否番号」を選択し、(◎)を押します。

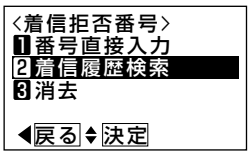
〈着信拒否番号〉
05：
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

2 未登録の項番を表示するので、(◎)を押す

・登録済みの電話番号を変更するときは、項番を直接入力するか(◎)で項番を選択してください。登録済みの項番は電話番号や名前（共通電話帳に登録時）が表示されます。

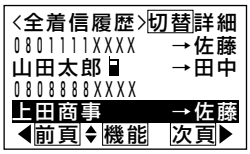
〈着信拒否番号〉
05：
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

3 ◎で「2着信履歴検索」を選択し、◎を押す



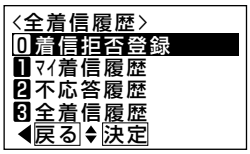
4 ◎で拒否する相手を検索し、◎を押す

- 画面は「全着信履歴」の表示をありにした場合です。表示なしの場合は、〈ﾏｲ着信履歴〉が表示されます。
- 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、詳細表示（1件表示）と一覧表示（4件表示）が切り替わります。



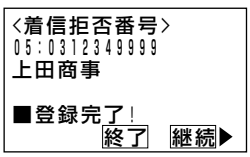
5 ◎で「0着信拒否登録」を選択し、◎を押す

- 本画面で検索する着信履歴の種類（1 ﾏｲ着信履歴、2 不応答履歴、3 全着信履歴、4 他TEL履歴）を選択することもできます。



6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

- ●登録できる電話番号は最大16桁、最大99件です。
- ●登録した電話番号は、電話番号の降順に自動的に並べ替えられます。
- ●すべての項番が登録済みの場合は、操作2で項番01を表示します。

ご注意

- ●本機能はシステム一括の設定ですので、セットした電話番号はすべての外線で拒否します。

知っていると便利なこと

- ●着信拒否をセットした電話番号から電話がかかってきた場合も、全着信履歴、不応答履歴に残ります。拒否した着信は“→拒否”が表示されます。

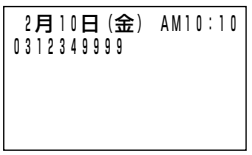
■通話中の相手を拒否登録する

通話中の相手の電話番号を、着信拒否する電話番号として登録することができます。指定電話機以外からも操作できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	拒否登録（938）	ET-4CIU-iA/L L（アナログ回線の場合）

1 外線通話中に 拒否登録 ボタンを押す

- 登録できると 拒否登録 ランプ（赤）が点灯します。



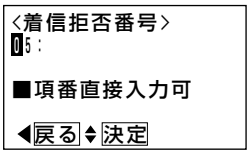
補足説明

- ●電話番号が表示されていないときは、登録できません。拒否登録ランプは点灯しません。
- ●電話を受けたときだけでなく、電話をかけたときも登録することができます。
- ●登録件数に空きがないときは、登録できません。拒否登録ランプは点灯しません。

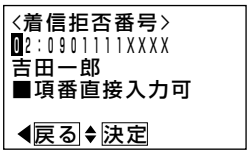
■拒否する電話番号を解除する

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

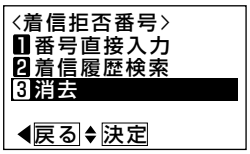
①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「9 発信者識別機能」を選択し、◎を押します。
④「1 着信拒否番号」を選択し、◎を押します。



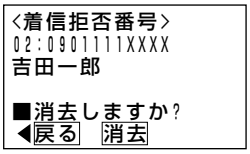
2 ◎で解除したい項番を選択し、◎を押す



3 ◎で「3消去」を選択し、◎を押す

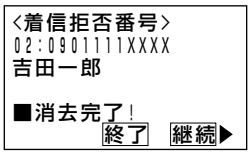


4 消去確認画面が表示されるので、◎を押す



5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

●解除した場合、以降の項番は繰り上げとなります。

■拒否方法を選択する

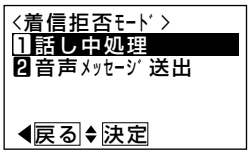
着信を拒否するとき、話し中にするか音声メッセージを流すかを選択できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	お待たせ（971）	ET-「」RECU-iA/L L＊ または ET-2VRU-iA/L L＊

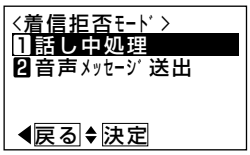
＊音声メッセージを流す場合

1 メニューから〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「9 発信者識別機能」を選択し、◎を押します。
④「2 着信拒否ﾓｰﾄﾞ」を選択し、◎を押します。

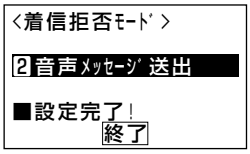


2 ◎でモードを選択し、◎を押す



3 設定完了画面が表示される

- ◎を押すと終了します。



補足説明

- ●固定メッセージ「ただ今不在です。電話にでることができません。」のほか、録音したメッセージ（P287、P291）を使用することもできます。［工事者設定229-6］
  ※音声応答ユニット（VRU）を使用する場合、固定メッセージは使用できません。L
- ●メッセージを流す時間は非通知着信拒否（P158）と共通で約16秒です。8秒、32秒、または64秒に変更することもできます。［工事者設定229-6］
- ●拒否方法は工事者設定で選択することもできます。［工事者設定229-6］

番号を通知しない電話を拒否する（非通知着信拒否）

電話番号を通知しない（非通知）で電話をかけてきた場合に「恐れ入りますが、番号を通知しておかけ直しください。」等のメッセージや話中音（ツーツー…）を聞かせることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-7	非通知拒否（935）	ET-4CIU-iA/L L（アナログ回線の場合） ET-「 」RECU-iA/L L＊ または ET-2VRU-iA/L L＊

＊音声メッセージを流す場合

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■非通知着信拒否をセット／解除する

1 非通知拒否 ボタンを押す

- セットした場合は 非通知拒否 ランプが点灯します。
- 解除した場合は 非通知拒否 ランプが消灯します。

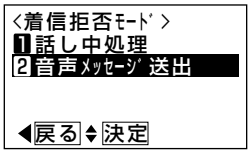
補足説明

- 非通知拒否 ボタンを押す毎に、セット／解除を繰り返します。
- 操作できる電話機は、テナント毎に10台 S ／16台 M L までです。
- 非通知着信拒否のセット／解除はメニュー機能でも行えます。
  「5 各種機能切替」→「4 非通知着信拒否」→「0 OFF」または「1 ON」の順に選択してください。
- 本機能はテナント毎に独立して設定されますが、システム一括設定に変更することもできます。[工事者設定229-7]
  データ設定用電話機からのメニュー機能で変更することもできます。
  「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」→「8 非通知着信拒否」→「2 着信拒否適用外線」→「0 同一ﾃﾅﾝﾄ」または「1 ｼｽﾃﾑ一括」の順に選択してください。
  - 同一ﾃﾅﾝﾄ：モード切替用電話機が操作できるテナントのみ、非通知着信拒否のセット／解除を行います。
  - ｼｽﾃﾑ一括：システム一括で非通知着信拒否のセット／解除を行います。

■拒否方法を選択する

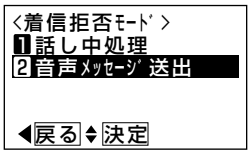
1 メニューから〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出し、◎を押す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「8 非通知着信拒否」を選択し、◎を押します。
④「1 着信拒否ﾓｰﾄﾞ」を選択し、◎を押します。



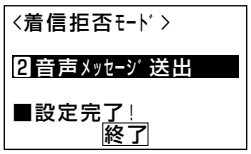
2 ◎でモードを選択し、◎を押す

- 現在の設定を反転表示します。



3 設定完了画面が表示される

- ◎を押すと終了します。



補足説明

- 電話番号を通知できない着信や公衆電話からの着信は、拒否しません。
- 拒否方法はテナント毎に独立して設定できます。また、操作できる電話機は、テナント毎に10台 S ／16台 M L までです。
- 固定メッセージ「恐れ入りますが、番号を通知しておかけ直しください。」の他、録音したメッセージ（P287、P291）を使用することもできます。[工事者設定229-7]
  ※音声応答ユニット（VRU）を使用する場合、固定メッセージは使用できません。 L
- メッセージを流す時間は発番号識別着信拒否（P154）と共通で約16秒です。8秒、32秒、または64秒に変更することもできます。[工事者設定229-7]
- 拒否方法は工事者設定で選択することもできます。[工事者設定229-7]

非通知着信拒否を行う着信種別を選ぶ

非通知着信拒否を行う場合、非通知の着信種別毎に着信拒否の有無を設定します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-7	非通知拒否（935）	ET-4CIU-iA/L L（アナログ回線の場合）

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから＜非通知着信拒否＞を呼び出す

① ◎ を押します。
② 「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎ を押します。
③ 「8 非通知着信拒否」を選択し、◎ を押します。

<非通知着信拒否>
1 着信拒否ﾓｰﾄﾞ
2 着信拒否適用外線
3 拒否対象着信種別
◀戻る ◆決定

2 ◎ で「3 拒否対象着信種別」を選択し、◎ を押す

<非通知着信拒否>
1 着信拒否ﾓｰﾄﾞ
2 着信拒否適用外線
3 拒否対象着信種別
◀戻る ◆決定

3 ◎ で非通知拒否のON/OFFを選択し、◎ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 相手の方が非通知で電話をかけてきたとき（1 8 4 をダイヤルしてかけたときなど）、着信を拒否する場合は「1 ON」を選択します。

<非通知拒否設定>
0 OFF
1 ON
◀戻る ◆決定

4 ◎ で公衆電話拒否のON/OFFを選択し、◎ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 相手の方が公衆電話から電話をかけてきたとき、着信を拒否する場合は「1 ON」を選択します。

<公衆電話拒否設定>
0 OFF
1 ON
◀戻る ◆決定

5 ◎ で表示圏外拒否のON/OFFを選択し、◎ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 相手の方が表示圏外（海外など）のとき、着信を拒否する場合は「1 ON」を選択します。

<表示圏外拒否設定>
0 OFF
1 ON
◀戻る ◆決定

6 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎ を押します。

<拒否対象着信種別>
非通知　:ON
公衆電話:ON
表示圏外:OFF
■設定完了!
終了

補足説明

●本機能はテナント毎に独立して設定できます。また、操作できる電話機は、テナント毎に10台 S ／16台 M L までです。
●拒否対象着信種別は、工事者設定で設定することもできます。[工事者設定229-7]
●非通知着信拒否のON/OFFについてはP158をご覧ください。

ご注意

●拒否するときに音声メッセージを流す場合（P158）、着信種別毎に音声メッセージを変更することはできません。

留守番機能について

メニュー機能で設定する

メニュー機能を利用すると、留守切替ボタンや夜間切替()ボタンがなくても留守番機能をセットすることができます。ここではメニュー機能による留守切替および夜間切替操作を説明します。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	−	−

■留守切替を設定する

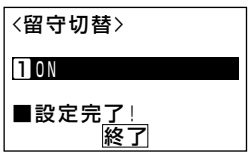
1 メニューから〈留守切替〉を呼び出す

①(◎)を押します。
②「5 各種機能切替」を選択し、(◎)を押します。
③「1 留守切替」を選択し、(◎)を押します。

2 (◎)で「1 ON」を選択し、(◎)を押す

3 設定完了画面が表示される

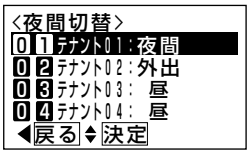
- (◎)を押すと終了します。



■夜間切替を設定する

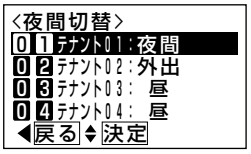
1 メニューから〈夜間切替〉を呼び出す

①(◎)を押します。
②「5 各種機能切替」を選択し、(◎)を押します。
③「2 夜間切替」を選択し、(◎)を押します。



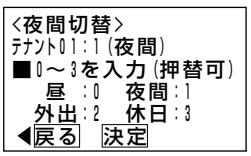
2 操作した電話機の対応テナントが反転表示されるので、(◎)を押す

- 各テナントの現在の設定内容が表示されます。(◎)で各テナントの設定内容を確認することもできます。
- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、他のテナントや「00 全ﾃﾅﾝﾄ」を選択し、(◎)を押すことができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。



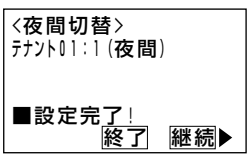
3 夜状態のモード番号（1〜3）を入力し、(◎)を押す

- 通常は1〜3いずれかを指定しても同じ動作となります。「応答専用モード」にて、夜状態のモード毎に応答メッセージを使い分ける場合は、1〜3の指定が有効となります。



4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、(◎)を押します。
- (◎)を押すと操作2に戻り、設定をくり返すことができます。



留守録モードを利用する（録音回路利用時）

留守録を使うとき

例として、留守切替操作で「留守録モード」を設定する方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-2	下記＊参照	ET-「」RECU-iA/L L

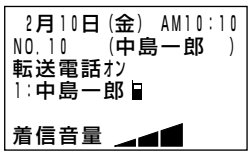
＊留守切替（981）または夜間切替00（900）～夜間切替07（907）S／夜間切替11（911）M／夜間切替15（915）L のいずれか、および留守録（947）、メッセージ0（928）～メッセージ3（931）、留守録モニタ（966）で必要なもの

■プログラマブルキーで留守録をセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。



2 留守録 ボタン、メッセージ( ) ボタンの順に押す

- メッセージ( )ボタンは応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 留守録 ランプが点灯します。
- 選択したメッセージ( )ランプが点灯します。
- メッセージ0は固定メッセージ、メッセージ1～メッセージ3は録音した応答メッセージ(P103)です。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

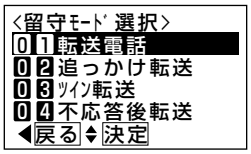
- “■■■■■”は録音残時間の目安です。“■”1個あたり約20%です。
  残時間がないと“OVER”と表示されます。

■メニュー機能で留守録モードに切り替える

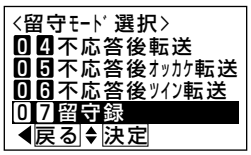
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「6 留守番機能」を選択し、◎を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、◎を押します。

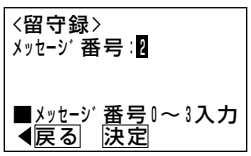


2 ◎で「07留守録」を選択し、◎を押す



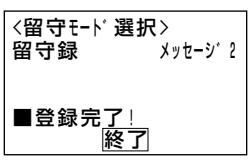
3 メッセージ番号（0～3）を入力し、◎を押す

- メッセージ番号0は固定メッセージ、メッセージ番号1～3は録音した応答メッセージ(P103)です。
- ◎を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。



4 登録完了画面が表示される

- ◎を押すと終了します。



留守録モードを利用する（録音回路利用時）

夜間や休日にかかってきた電話に対し、相手の方の用件を録音することができます。

応答メッセージを録音する

留守録モードで応答するとき流す、「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音の後にお話しください。ピー」という応答メッセージがあらかじめ用意されていますが、自分の声で録音した応答メッセージを流すことができます。応答メッセージは約32秒録音することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
664-6	−	ET-「」JRECU-iA/L L

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■特番を押して録音するとき

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 応答メッセージ録音・確認特番 6(は MNO) 1(あ) を押す

- 保留音が聞こえます。
- 6 1 は留守録1CHのメッセージ1の場合です。他のメッセージの特番については、「補足説明」（P105）を参照してください。

3 1(あ) を押す

- 保留音が止まったら録音開始になりますので、ハンドセットに向かって話します。（最大32秒）
- 録音時間が終了すると、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。

■メニュー機能で録音するとき

1 メニューから〈留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ〉を呼び出す

①◎を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「7 ﾒｯｾｰｼﾞ録音」を選択し、◎を押します。
④「 1留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、◎を押します。

<留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ>
1 留守録1CH
2 留守録2CH
3 留守録3CH
4 留守録4CH
◀戻る ◆決定

※機種により表示項目数が異なります。

2 ◎で録音を行う留守録チャネルを選択し、◎を押す

<留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ>
1 留守録1CH
2 留守録2CH
3 留守録3CH
4 留守録4CH
◀戻る ◆決定

3 ◎で録音を行うメッセージ番号を選択し、◎を押す

- 録音済のメッセージは「済」、未録音のメッセージは「未」を表示します。

<留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ> 1CH
1 ﾒｯｾｰｼﾞ1:済
2 ﾒｯｾｰｼﾞ2:未
3 ﾒｯｾｰｼﾞ3:未
◀戻る ◆録音 再生▶

4 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ

<留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ> 1CH
ﾒｯｾｰｼﾞ1 録音
■ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄを上げ、
ﾋﾟｰの後に録音開始
◀戻る

5 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音が完了したら◎を押してハンドセットを置く

- ◎を押さずにハンドセットを置いても録音完了となります。
- 録音時間が一杯（1件あたりの最大録音時間＝約32秒、または録音回路の録音時間が一杯になったとき）になっても、録音完了となります。

<留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ> 1CH
ﾒｯｾｰｼﾞ1 録音
■完了時:完了を押す
完了

6 録音完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作2に戻り録音をくり返すことができます。

<留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ> 1CH
ﾒｯｾｰｼﾞ1 録音
■録音完了!
終了 継続▶

転送電話モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対してあらかじめ設定したところに転送します。
●以下の6種類のモードがあります。
- ・転送電話モード…… 通常の転送電話です。転送先は1カ所です。
- ・追っかけ転送モード…… 1カ所目が応答しない場合は、2カ所目に転送します。
- ・ツイン転送モード…… 2カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。
- ・不応答後転送モード…… 一定時間電話に出なかったときに転送します。転送先は1カ所です。
- ・不応答後追っかけ転送モード… 一定時間電話に出なかったときに転送します。1カ所目が応答しない場合は、2カ所目に転送します。
- ・不応答後ツイン転送モード…… 一定時間電話に出なかったときに転送します。2カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。

転送先の電話番号を登録する

転送先電話番号をテナント毎に6カ所まで登録することができます。

また転送先を登録した[転送先1]～[転送先6]ボタンを電話機に作っておけば、ワンタッチで転送先を指定できるので、頻繁に変更する場合に便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	下記＊参照	−

＊留守切替（981）または夜間切替00（900）～夜間切替07（907）[S]／夜間切替11（911）[M]／夜間切替15（915）[L]のいずれか、および転送電話（941）～不応答ツイン転送（946）、転送先1（953）～転送先6（958）で必要なもの

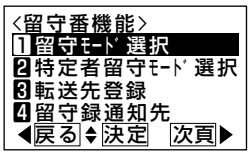
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守番機能〉を呼び出す

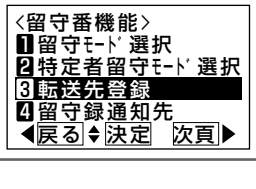
① ◎ を押します。

② 「[7] ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎ を押します。

③ 「[6] 留守番機能」を選択し、◎ を押します。

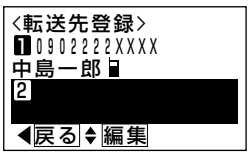


2 ◎ で「[3] 転送先登録」を選択し、◎ を押す



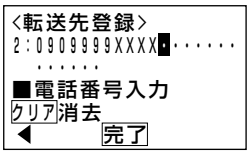
3 ◎ で転送先番号（[1]～[6]）を選択し、◎ を押す

- すでに登録されている場合は、現在の登録内容が表示されます。
- 転送先番号（[1]～[6]）は、[転送先1]～[転送先6] ボタンに対応します。



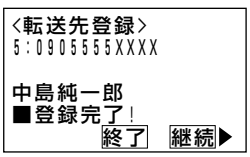
4 転送先の電話番号を入力し、◎ を押す

- 変更する場合は、◎ でカーソルを移動して必要な部分を変更できます。
- 電話番号をすべて消去すると、◎ で操作3に戻ることができます。
- 電話番号をすべて消去して ◎ を押すと、転送先の電話番号を消去することができます。



5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎ を押します。
- ◎ を押すと操作3に戻り、登録/変更をくり返すことができます。



転送電話モードを利用する

転送電話をセットする

例として、留守切替操作で 転送電話 を選択し、転送先として転送先3を指定する操作方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401,401-1	下記＊参照	−

＊留守切替（981）または夜間切替00（900）～夜間切替07（907）S／夜間切替11（911）M／夜間切替15（915）L のいずれか、および転送電話（941）～不応答ツイン転送（946）、転送先1（953）～転送先6（958）で必要なもの

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

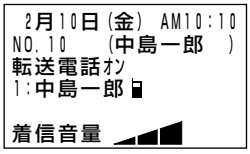
■プログラマブルキーでセットする

1 留守切替 **ボタンを押す**

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

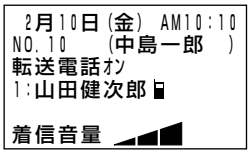
2 転送電話 **ボタンを押す**

- 転送電話 ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。



3 転送先3 **ボタンを押す**

- 転送先3 ランプが点灯します。
- 転送先3に登録されている電話番号または名前（共通電話帳登録時）がディスプレイに表示されます。



補足説明

- 操作1で、利用したいモードが表示されている場合は、操作2を省略します。（前回セットしたモードはクリアされずに残りますので、モードの使い分けをしない場合は、2回目以降はワンタッチでセットできます。）
  転送先を変更しない場合は、操作3も省略します。
- 留守切替 ボタンの代わりに 夜間切替( ) ボタンを押すこともできます。
- 転送電話を解除する場合は、セットした 留守切替 ボタンまたは 夜間切替( ) ボタンを押します。解除されるとランプが消えます。
- 転送先の電話番号が19桁以上の場合は、ディスプレイには先頭の18桁が表示されます。
- 指定した転送先が共通電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前が表示されます。

ご注意

- 転送電話の通話は、約30分で強制的に切れます。（切れる10秒前に、“ピー”という警報音が通話をしている人に聞こえます。）
  ※通話時間は、10～150分、10分単位で変更することもできます。［工事者設定401-1］
- 転送先が2カ所の転送電話（ツイン転送や追っかけ転送）を選択するとき、転送先( ) ランプが1個点灯しているときに別の 転送先( ) ボタンを押すと、2カ所目の転送先として登録されます。更に別の 転送先( ) ボタンを押すと、1カ所目からの登録となります。

知っていると便利なこと

- モードの選択や、留守切替のON/OFF、夜間切替のON／OFF、転送先の選択等は、外出先からのリモート操作で行うこともできます。⇒P132
- 転送電話で転送先を呼び出している間は、電話に出ることもできます。［工事者設定401-1］
- 転送先が話し中や応答しなかったときは、相手の方にメッセージを流したり、相手の方の用件を録音することもできます。［工事者設定401-1］
- 転送電話の通話内容を録音回路（RECU）やボイスメール L で録音することができます。通話内容は着信外線のテナントに対応した留守録ボックス（RECUの場合）／留守番代行ボックス（ボイスメールの場合）に録音されます。［工事者設定401-1］

転送電話モードを利用する

メニュー機能で転送電話のモードに切り替える

メニュー機能を利用し、専用のボタンがなくても留守番機能のモード切替や転送先選択を行うことができます。

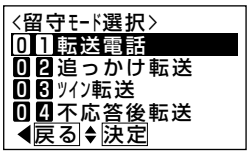
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

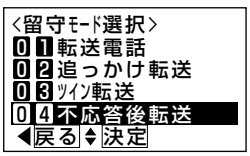
■転送電話のモード（転送先1カ所）に切り替える

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

①(◎)を押します。
②「**7** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、(◎)を押します。
③「**6** 留守番機能」を選択し、(◎)を押します。
④「**1** 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、(◎)を押します。

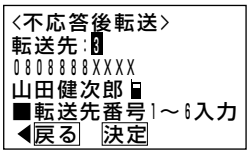


2 (◎)で使用するモードを選択し、(◎)を押す



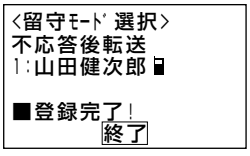
3 転送先番号（1～6）を入力し、(◎)を押す

- (◎)を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。



4 登録完了画面が表示される

- (◎)を押すと終了します。



プログラマブルキーの登録方法

使用していない 外線 ボタンをワンタッチダイヤルや機能ボタンに設定して自分にあった電話機にできます。

自電話機への登録

自分の電話機にプログラマブルキーを設定します。

■機能番号を入力して登録する

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①◎を押します。
②「6 電話機毎機能設定」を選択し、◎を押します。
③「2 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◎を押します。
- i ボタン＋ ✳ ✳ を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
･･KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、◎を押す

- 現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:00
      機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る  決定
```

3 ◎で「1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録」を選択し、◎を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼決定
```

4 登録する機能番号を入力し、◎を押す

- 機能番号を入力すると、キー名称も表示されます。
- カーソルが先頭にあるときは、再入力することができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:982
      ﾏｲｸ
■機能番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る  決定  一覧▶
```

5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:982
      ﾏｲｸ

■登録完了!
      終了  継続▶
```

■ボタン一覧から選んで登録する

登録する機能番号を入力する代わりに「ボタン一覧」から検索して登録することができます。

「■機能番号を入力して登録する」の操作4で◎を押す代わりに◎を押した後、下記の操作を行います。

5 ◎で検索し、◎を押す

- 操作4で表示している機能番号を先頭に機能番号順に一覧表示します。
- フック/クリア ボタンを押すと、操作4に戻ります。
- ◎を押すと、前後の4件を表示します。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉 ｸﾘｱ戻る
982:ﾏｲｸ
983:3者会議
984:不在
985:盗聴防止
◀前頁 ▲▼決定  次頁▶
```

6 内容を確認し、◎を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:985
      盗聴防止
■機能番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る  決定  一覧▶
```

7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:985
      盗聴防止

■登録完了!
      終了  継続▶
```

付 録

電話機ご利用者名	内線番号

iAシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[フック/クリア]…フックボタン　〈 〉…操作中
〔 〕…初期値　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P11～）を参照してください。

項目			操作手順	記事
外線通話関係	電話をかける	ハンドセットをとってかける	↰→(外)→電話番号□…□	
		ハンドセットをとるだけでかける	↰→電話番号□…□　(注) 本機能を設定すると「ハンドセットをとるだけで外線からの電話を受けられる」以外のハンドセットをとって行う操作ができなくなります。	[設]
		ハンドセットをとらずにかける	(外)→電話番号□…□	
		(外)を押さずにかける	□〔初期0〕→電話番号□…□	[設]
		電話番号を確認してからかける(プリセットダイヤル)	電話番号□…□→(外)	[設]
		発信履歴から検索して電話をかける	◎→◎（電話をかけたい履歴を表示）→(外)	
		相手がお話し中のとき(スーパーリトライ)	<オンフックダイヤル>→話中音→[再発信]→アラーム（ピピ）が聞こえたら[再発信]	[設]
		短縮ダイヤルを使ってかける(システム短縮ダイヤル)	(外)→[短縮／電話帳]→短縮番号□□□000～599〔または000～989 M L〕 [短縮／電話帳]→短縮番号□□□000～599〔または000～989 M L〕	[設]
		短縮ダイヤルを使ってかける(電話機短縮ダイヤル)	(外)→[短縮／電話帳]→短縮番号□□□980～999〔または990～999 M L〕 [短縮／電話帳]→短縮番号□□□980～999〔または990～999 M L〕	[設]
		ワンタッチダイヤルでかける	(外)→(　)（ワンタッチダイヤルを登録したボタン） (　)（ワンタッチダイヤルを登録したボタン）	[設]
		電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）	◎→◎（電話をかけたい履歴を表示）→(外)	
	電話を受ける	電話を受ける	↰→(外)	
		ハンドセットをとるだけで電話を受ける	↰（ハンドセットをとるだけ）	[設]
	保留	外線保留	<外線通話中>[保留]	
		自己保留	<外線通話中>(自己保留)	
	転送	転送	<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→((転送))*→↱ *：オンフック転送設定時は(転送)は不要	[設]
		簡易転送	<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→((転送))*→↱ *：オンフック転送設定時は(転送)は不要	[設]
	外線指定捕捉		↰→特番□（または□□）→外線番号□□	[設]
	外線アッドオン		<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→(3者会議)	オプション
	2外線アッドオン		<外線通話中>[内線]→(外)→（電話番号□…□）→<外線通話>→(3者会議)	オプション
	外線通話モニタ		(聴話)→モニタしたい(外)	オプション（アナログ外線以外）
	外線割込通話		↰→割り込みたい(外)	オプション [設]

付 録

電話機ご利用者名	内線番号

iAシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[フック/クリア]…フックボタン　〈 〉…操作中
〔 〕…初期値　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P11～）を参照してください。

項目			操作手順	記事
外線通話関係	トーン切替	手動	<外線通話中>[#]→番号□…□	
		自動	<外線通話中>→番号□…□	[設]
	転送電話（手動）		<外線通話中>[内線]→(外)→電話番号□…□→<外線通話>→(転送)*→↱ *：オンフック転送設定時は(転送)は不要	[設]
内線通話関係	内線個別呼出 内線発信		[内線]または↰→内線番号□…□、[スピーカ]→内線番号□…□	
	内線個別呼出 内線音声呼出		[内線]または↰→内線番号□…□→[※]、[スピーカ]→内線番号□…□→[※]	
	内線一斉呼出		[内線]または↰→[7][0]	
	内線一斉呼出への応答		[内線]または↰→[7][7]	
	内線グループ呼出		[内線]または↰→□□〔グループ1：71、グループ2：72、グループ3：73、グループ4：74 M L〕	[設]
	内線保留		<内線通話中>[保留]　再応答：↰→[保留]	
	内線パーク保留		<内線通話中>[保留]または(内線パーク)　再応答：↰→(内線パーク)	
	内線転送		<内線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→（(転送)）*→↱ *：オンフック転送設定時は(転送)は不要	[設]
	内線3者通話		<内線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→(3者会議)	オプション
	代理応答		[内線]または↰(代理応答)　同一グループ内のみ	
	ドアホン・テレビドアホン着信の応答		ドアホン着信表示設定電話機　↰ ドアホン着信表示設定なし電話機　↰→特番□（または□□）	オプション [設]

付 録

電話機ご利用者名	内線番号

iAシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[フック/クリア]…フックボタン　〈 〉…操作中
〔 〕…初期値　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P11～）を参照してください。

項目		操作手順	記事
リモート操作モードまたはダイレクトインダイヤル（DID）を使って外部からコントロールする方法		<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊1→[1] →（モード切替用電話機の内線番号□…□）＊2→モード番号□→[#] （0：昼／1：夜間／2：外出／3：休日） ＊1：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要 ＊2：初期設定では入力不要 S M ／初期設定では入力必要 L	[シ]
	留守切替	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊1→[2] →（モード切替用電話機の内線番号□…□）＊2→切替ON/OFF□→[#] （0：OFF／1：ON） ＊1：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要 ＊2：初期設定では入力不要 S M ／初期設定では入力必要 L	[シ]
	留守録用件再生 S	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊→[3] →留守録ボックス番号□→[#]（1～4） ＊：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要	
	留守録用件再生 M	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊→[3] →留守録ボックス番号□→[#]（1～8） ＊：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要	
	留守録用件再生 L	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊→[3] →留守録ボックス番号□□→[#]（01～12） ＊：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要	

付 録

電話機ご利用者名	内線番号

iAシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[フック/クリア]…フックボタン　〈 〉…操作中
〔 〕…初期値　□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P11～）を参照してください。

項目		操作手順	記事
リモート操作モードまたはダイレクトインダイヤル（DID）を使って外部からコントロールする方法	留守番モード切替	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊1→[4] →（モード切替用電話機の内線番号□…□）＊2→モード番号□□→[#] 01：転送電話　転送電話モード　07：留守録モード 02：転送電話　追っかけ転送モード　08：応答専用モード 03：転送電話　ツイン転送モード　09：お話し中モード 04：転送電話　不応答後転送モード　10：発信者選択モード 05：転送電話　不応答後追っかけ転送モード　11：通常着信モード 06：転送電話　不応答後ツイン転送モード ＊1：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要 ＊2：初期設定では入力不要 S M ／初期設定では入力必要 L	[シ]
	転送先切替	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊1→[5] →（モード切替用電話機の内線番号□…□）＊2→転送先（1カ所目）□（1～6） →転送先（2カ所目）□（1～6）→[#] ＊1：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要 ＊2：初期設定では入力不要 S M ／初期設定では入力必要 L	[シ]
	転送先電話番号登録	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊1→[6] →（モード切替用電話機の内線番号□…□）＊2→転送先□（1～6） →転送先電話番号□…□（最大24桁）→[#] ＊1：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要 ＊2：初期設定では入力不要 S M ／初期設定では入力必要 L	[シ]
	リモコン	<一次応答信号を聞く>[#]→（パスワード□□□□）＊1→[9] →リモコンNo.□（1～4）→リモコンON/OFF□（0：OFF 1：ON）→[#] ＊1：リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要	オプション [シ]